

千貫岩駐車場～三笠台～大かんの台～風神山～千仏不動尊～

千仏鍾乳洞～堂金山～不動山～不動坂～風神山～千貫岩駐車場

千貫岩駐車場からの 地の果て

2021年2月27日

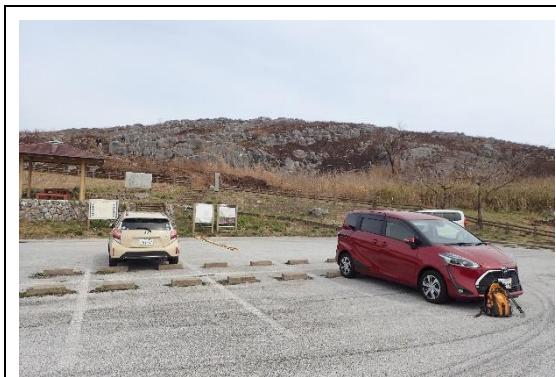
今日は以前から気になっていたルートがあったので、思い切って歩いてみた。それは不動坂下の分岐から千仏鍾乳洞へ至る道である。大かんの台から堂金山にかけての台地は、急な崖が続いている、この先にはもう行くことが出来ないと言う意味からか？この一帯は「地の果て」と呼ばれている。そんな「地の果て」とはどんなところなのか？歩いてみることにした。



目指すは不動洞。長く続く急坂は落ち葉で滑りやすい。ロープを握り締めて下って行く。

<コース概要>

- 1、千貫岩駐車場 11時38分 ~ 2、三笠台 ~ 3、大かんの台 ~
- 4、ポールの立つピーク ~ 5、大かんの台 ~ 6、風神の祠 ~ 7、風神山~
- 8、不動坂下の分岐 ~ 9、千仏不動尊 ~ 10、千仏鍾乳洞 ~ 11、堂金山 ~
- 12、不動山 ~ 13、不動坂下の分岐 ~ 14、風神山 ~ 15、千貫岩駐車場 15時28分

	<p>1、千貫岩駐車場 11時38分 スタート スタート時間は今日も遅く、お昼前の出発となった。先ずは三笠台に挑戦だ！</p> <p></p> <p>今日は寒い！</p>
	<p>東屋横の階段から 11時39分 今日の目標は「地の果て」と呼ばれているこの界隈の山々を巡る山歩きだ！初めてのルートもありちょっと不安。</p> <p></p> <p>標識の矢印に沿って</p>
	<p>駐車場からの階段を上ると… 11時41分 先ず広い農道に出る、その農道から真っすぐ上る道と右斜めに分かれる道がある。先ずここで迷うが、山頂までの最短ルートは真っすぐである。右の道(青矢印)は下山に使うことになる。真っすぐ登って行くとまた道が分かれるがどちらでもOK。どちらにしても山頂にはすぐ登頂できる。</p>
	<p>なだらかな登山道。最初はゆっくり歩こう！</p> <p></p> <p>山頂碑が見えてきた 11時45分</p>

思ったより寒くて、薄手のダウンを着込んだ。

	<p>2、三笠台 11時45分 433m</p> <p>駐車場からたった5分で登頂。上った気がしないが、これも山頂！</p> 
---	---

昭和27年7月に三笠宮殿下が登られて、ここから平尾台を眺めたそうだ！よって、三笠台。

	<p>三笠台を下山 11時47分</p> <p>サクッと登ってサックと下山。今上ってきた道とほぼ反対側の周防台方面に伸びた道を下る。道は徐々に右カーブ。今度は天狗岩方面に向いて下って行く。この道の方が、上りよりなだらかだが、距離は長い。</p> <p>それにしても、風が強くて冷たい。時折突風も吹いて帽子が飛ばされそうだ。</p>
	<p>三笠台の下の道へ出て右へ 11時49分</p>
	<p>駐車場まで一直線 11時50分</p>
	<p>スタート地点の分岐(11時41分)へ到着。三笠台の所要時間は13分だった 11時54分</p> <p>農道に出た。千貫岩駐車場を右に見て農道を進む。 11時54分</p>

 <p>農道を進んで行くと… 11時55分</p>	 <p>分岐？でも直進！右側は畠？ 11時56分</p>
 <p>菜の花？ 11時58分 黄色が目立つ</p>	 <p>道は右カーブして上って行く 11時59分</p>
 <p>正面が大かんの台か？ 右へ 12時01分</p>	 <p>また分岐。山頂は左方面 12時02分 左へ</p>
 <p>とにかく上って行く 12時03分</p>	 <p>山頂碑があるはずだが… 12時05分</p>



振り返ると、スタート地点の千貫岩駐車場(赤矢印)が見えている。稜線上を辿ると、次のピークらしき所に山頂碑のようなもの(青矢印)が立っている。行ってみよう！ 12時06分





三笠台遠望 先ほど歩いた三笠台。千貫岩駐車場(青矢印)から上り、山頂(緑矢印)を踏み、裏側(赤矢印)まで下ったことになる。そして麓の道を辿って千貫岩駐車場(青矢印)に戻った。さっき歩いているときはよくわからなかつたので、歩いた道をしっかり確認出来て納得。



5、ポールの立つピークから大かんの台に戻り、風神山を目指す！ 12時16分 先は長い！
今日歩くのは、名付けて「地の果てルート」。これから先、写真中央の森の中へと下って行くことになるが、さあこれからどうなる？ 森へ下るルートは初めてで、ちょっとワクワクしている。



地の果ての台地から右手を見る 12時19分



行橋市方面の田園と遠くの市街地



羊たちと戯れながら台地を進む 12時20分 いい眺めだ！



6、風神の祠 12時21分

石灰岩の上に祠が祀ってある。

祠の台座には右から「明治廿二年五月廿五日三山中」と刻まれている。この「地の果て」の崖の上は常に強風が吹き荒れる。

明治32年、その風を鎮めるためにこの祠が建立されたそうだ。

手を合わせて先へ進む。



7、風神山 12時23分 418m

風神の祠から約2分で風神山の山頂に到着。広すぎて山頂のような気がしない。



天狗岩が見える



風神山で小休憩後、出発！ 12時32分 これより、急坂を下り不動坂下の分岐(赤矢印)へ。



もうすぐ鞍部の分岐地点 12時42分



8、不動坂下の分岐 12時43分 右へ

	
この分岐から不動坂を上れば不動山だが…	更に右に下り、地の果ての下へ 12時47分
	
天狗岩が正面に見えてきた 12時50分	森の中へ突入しグングン下る 12時52分
	
ジグザクの道を更に下る 12時57分	すると突然道は斜度を増し、ロープ場となる
	<p>左は上り、右は下り。どっち？ 13時01分</p> <p>約3分、ズルズル滑る急坂を必死にロープを掴み下ってくると、突然階段に飛び出した。息せき中、たぶんこの辺りに千仏不動尊があるはずだが…と階段で休憩しながら考える。実際に歩いたらわかるだろうと安易に考えていたが、しっかり調べて来ればよかつたと後悔してももう遅い。「とにかく一度上去ってみよう」と左へ進んだ。</p>
ロープが終わると同時に階段 13時01分	



9、千仏不動尊 13時04分

階段を上ること約3分で千仏不動尊に無事到着。大きな岩室の中にお堂が建てられている。道はここで行き止まり。岩室の上を見ると垂直な岩壁になっている。要するに、がけ下の岩室に不動明王が祀られていることになる。実はこの下に不動洞があり、確認するはずだったのだが…。



綺麗に掃除された内部に不動明王像



岩室の上を見上げると断崖



百度石



修行大師の石像や不動明王像



不動洞未確認で石柱まで下る 13時16分
千仏不動尊の下に総距離1270mと言われる不動洞(鍾乳洞)があると聞いていたが、なんと千仏不動尊にお参りして安堵したのか?不動洞を確認することをすっかり忘れていた。いつの間にかそのまま石段を下ってしまい、石柱のところまで来てしまった。不動洞に気が付かなかった(悲)。不覚@@



苔生すコンクリート道 13時18分



橋を渡る 13時20分 この橋、千仏橋？



この流れはどこから？と疑問に思う。
この川、千仏川？ 13時20分



九州自然歩道と合流 13時21分 左へ
ここを左に回り込むと道標がある。



九州自然歩道を辿れば行橋市大行事へ



千仏鍾乳洞まで500m 茶ヶ床まで2.3km



スイセンが咲いていて心和む



さあ、次は千仏鍾乳洞だ！



分岐のすぐ近くに小屋が…



覗くとお地蔵さんと他2体が祀られていた



歩を進めるにつれて、左上に断崖絶壁がチラリと顔を出している。あの崖が千仏ロック？



車両進入禁止の丸太の杭、倒木ならぬ倒竹を乗り越えて荒れた道を進む



朽ちかけた木の橋を渡る 13時29分 一か所踏み抜いた所があった(危険)

千仏鍾乳洞まであと200m



九州自然歩道の標識 13時30分



前方に建物が見えてきた 13時33分



階段の途中に男子トイレ 13時35分



階段を上るとそこは… 13時36分



10、千仏鍾乳洞 13時36分 券売所営業中！ 入洞料金は大人800円。
この冬の季節だが、お客様が入洞していた。我々は入洞をパスして、せんぶつ茶屋へ。

<p>平尾台名物カルスト饅頭 一個100円</p> <p>カルスト饅頭を食べて出発 13時46分</p>	<p>サツマイモが入っていてふっくら美味しい</p> <p>階段を上り駐車場へ 13時53分</p>



この広い駐車場にはトイレはありません



駐車場から千仏鍾乳洞まで220m



トイレは千仏鍾乳洞の券売所横です



駐車場は千仏鍾乳洞の利用者専用です！



車道をくねくねと上って… 13時58分



駐車場の上にも駐車場 13時59分



千仏鍾乳洞の入口を通過 13時03分



入口を出て振り返るとこんな感じ



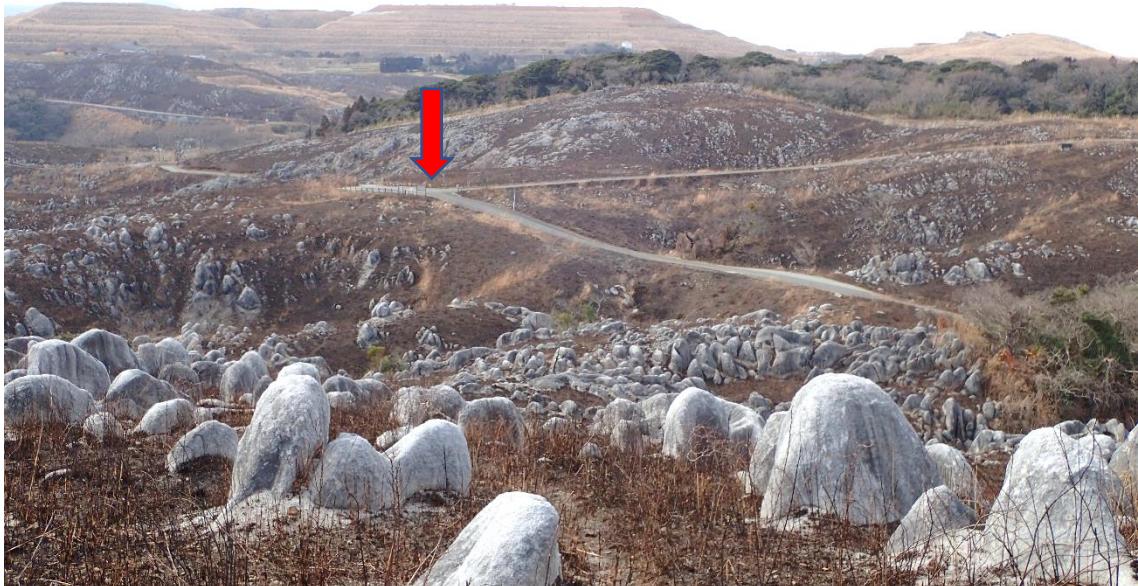


振り返れば野焼き後の貝殻山が一層ゴツゴツとした様相を見せてている 14時09分

 A wooden signpost with two directional arms. The main arm points right and says "堂金山 404m". The side arm points left and says "도금산 Mt. Daibon".	<p>11、堂金山 14時13分 404m この堂金山の崖下辺りが千仏鍾乳洞になるのだろう。電線も下に降りている。</p> 
 A person wearing a red jacket and a black backpack walks across a dry, rocky landscape. The ground is covered in brown, dead vegetation and scattered grey boulders.	 A view of the same rocky landscape from a slightly different angle. A paved road is visible in the distance, winding through the hills.

次は不動山を目指す！地の果て巡りは続く

右を見ると下の道路に続く分け道が…



見晴台(赤矢印)もよく見えている 14時15分 雄大な眺めを目に焼き付ける

A person in a red shirt and orange hat is walking along a rocky trail. The trail is surrounded by dry, brown grass and large rocks. The background shows more hills and mountains under a clear sky.	A view of the rocky hillside from a higher vantage point. The foreground is filled with large, light-colored boulders. In the distance, more hills and mountains are visible under a clear sky.
平坦な稜線歩きは遠足気分 14時17分	もうそろそろ山頂かな 14時26分
A wooden signpost on a rock. The sign reads "不動山 404m" and "Mt. Fudo". Below the sign, there is some smaller text in Korean and English.	12、不動山 14時26分 404m 堂金山と同じ標高だった。この下には不動洞や千仏ロックの崖がある。



いよいよ不動坂を下る 14時53分 正面はさっき下った風神山の斜面



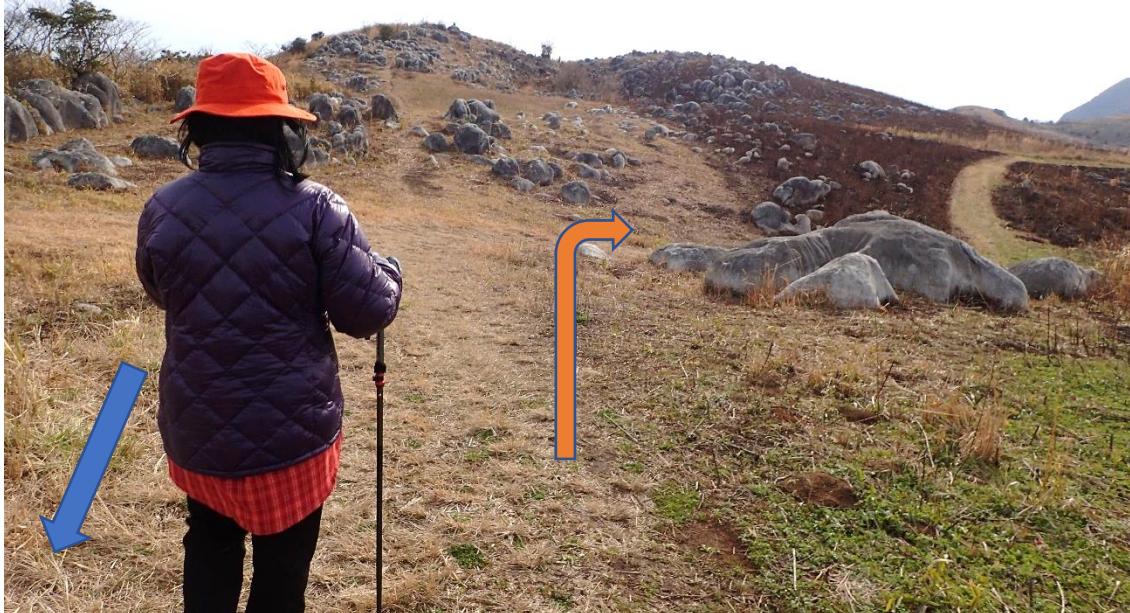
往路はこの分岐から不動洞方面(青矢印)へ下った。これで地の果ての上下を一周したことに。



風神山への急坂 14時57分 見上げると山が覆いかぶさってくる。見ない方がよかった。

 一気に上り切ったらハトハト 15時03分	 14、風神山 15時04分 本日2度目
 風神山山頂からのパノラマ 大平山～貫山～周防台～桶ヶ辻の稜線	 桶ヶ辻からの稜線の先に天狗岩があるが、 その下に平苅ベルトコンベアが見えている

	<p>平苅ベルトコンベヤー</p> <p>セメントの主原料である石灰石を、平尾台から苅田の工場まで直接ベルトコンベアで運んでいる。その距離なんと12km。</p> <p>平尾台と苅田町の名前に因んで、平苅ベルトコンベアと名付けられたそうだ。</p> <p>石灰石専用のトンネルを掘ったのには、驚くばかりである。</p>
	<p>風神の祠 15時08分</p> <p>大きな石灰岩を回り込むと風神の祠が見えてきた。石灰岩剥き出しの稜線は続く。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  再度参拝 </div>



大かんの台が迫ってきたが、山頂はバス。 15時12分 少タルートを考えて…右に下る。
駐車場への帰り道は、往路で歩いた広い農道ではなく、大かんの台の先のポールのあるピークから、直接農道へ下るルートを探しながら歩くことにした。

	
<p>大かんの台手前から稜線を右に下り、往路歩いた道(12時01分地点)に入る</p>	<p>分岐を右へ 15時18分 往路はここを左に曲がったが、今度は右へ</p>
	
<p>ポール立つのピークから下ってきた道にする。ここを右に進む。 15時19分</p>	<p>道はS字にカーブし畑の方へ下る。この道を辿ると往路で歩いた農道に行きつく。</p>
	
<p>畠の横を通過 15時20分</p>	<p>鉄製の檻？ イノシシの罠だろうか？</p>

 <p>畠を通り過ぎると… 15時22分 今日最初に登った三笠山が近づいてくる</p>	 <p>往路で気になった分岐(11時56分の地点) に出た 15時23分 左へ</p>
 <p>あとは真っすぐ駐車場まで歩くだけ</p>	 <p>東屋横の階段を下る途中で…</p>
 <p>ホトケノザを見つけた</p>	<p>15、千貫岩駐車場 15時28分 ゴール</p> 

本日の「地の果て巡り」はこれで終了。いつもの平尾台とは違った印象の山歩きだった。
不動洞と千仏ロックを見逃したのは痛恨の極み。また次の機会に再挑戦しよう。
所要時間は3時間50分、スマホの歩数計は13893歩だった。 お疲れ様でした。